

島村の蚕種



この写真は蚕種を販売した島村勸業会社の東京出張所です。

安政5年(1858)にアメリカ・イギリス・ロシア・フランス・オランダの5カ国と通商条約を結んで以来、日本の蚕種がたくさん売れ、この状態が明治初期まで続きました。

群馬県内でも蚕種業はさかんでしたが、特に佐位郡島村(現境町島村)は、土地が養蚕に適していたこと、蚕種の製造に適した清涼育という養蚕方法が開発されたことにより、県内でも中心的な地域でした。

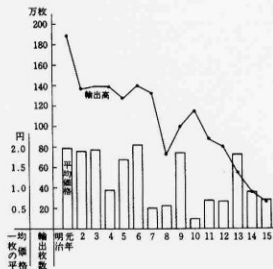
島村で蚕種を生産していた人々は、明治5年(1872)に蚕種の改良・蚕種の一括販売・養蚕資金の貸し出しをするために島村勸業会社を設立しました。特に海外への輸出には力を入れ、同11年(1878)に東京に出張所を開設し、直接外国商人へ販売し、同12年(1879)から同15年(1882)まで4回にわたりイタリアに蚕種を持ち込み直輸出しました。

〈参考資料〉『群馬県史』通史編8 140～171頁

主要蚕種生産地

碓氷郡	3,534	佐位郡	76,458
下豊岡	1,224	伊与久	7,092
群馬郡	24,428	小此木	2,771
		島村	65,207
川原島新田	3,100	那波郡	27,072
半田	2,000	柴町	2,500
金井	1,823	八斗島	1,650
岩鼻	1,000	長沼	4,621
三之倉	13,000	下蓬	1,760
緑野郡	13,317	国領	2,992
岡之郷	2,073	前河原	1,811
上栗須	2,000	角洲	3,680
中栗須	3,200	南玉	1,500
中島	2,298	川井	3,000
立石	2,500	沼之上	3,000
多胡郡	31,190	新田郡	39,757
吉井	3,390	川徳	1,074
塩川	2,500	大館	2,784
池	1,300	二ツ小	3,180
馬庭	24,000	前小屋	10,311
北甘梁郡	4,423	前島	2,828
富岡	1,372	堀口	3,529
下仁田	1,125	阿久津	1,017
宮崎	1,000	平塚	15,000

〔群馬県百年史〕上巻336頁より作成、原典は『上野国(郡)村誌』明治10年。1000枚以上の蚕種生産地を記載



蚕種輸出高推移 (明治元～15年)

〔大日本蚕糸会編『日本蚕糸業史』第3巻118頁より作成

〔群馬県史』通史編8より